

## 社 報



## 竹合板・ポプラ合板を輸入

## 来年の新入社員

日本の景気が回復局面を迎えつつあります。各業界で少子化の傾向を受けて、若年労働者を確保する動きが強まっています。

当社でも来春卒業予定の高校生を募集しておりましたが、応募者はごく少数に留まりそうな感じがします。建設業は他産業より景気回復が遅れるので、求人状況はどうしても不利になります。

今後も募集を続けますのでお知り合いでも紹介いただきますようお願いいたします。



先月でもお伝えしたように、ラワン合板が急激に値上がりしています。日本のラワン合板は主にインドネシアから輸入されています。

合板の値上がりの原因は、インドネシアが資源保護・環境保護のために、ラワンの原木を伐採規制したことに始まります。

原木の伐採規制はすでに数年前から実施されていましたが、インドネシアでは盗伐がひどく、闇の原木がかなりの量で流通していたようです。

そこで、インドネシア政府が闇の流通を徹底的に取締りを行なった結果、流通量が極端に落ち込み、原木薄から合板在庫が一掃されて需要と供給のバランスに変化を来たして、価格上昇が始まったようです。

日本の商社も、合板が値上がり始めたので、仕入れを多くしたいと考えているようですが、これが買い付け量を増やして、値上がりに拍車をかけているようです。

また、合板の買い付けは、船で輸入するわけですが、船一杯の合板を買い付けしようとしても、なかなか船一杯の合板が集まらないようです。当然、運送コストは船を一杯にした

方が安くつきますので、買い付けの船は荷が一杯になるまで、港で待つことになります。

港で接岸して荷を待つことは、他の船が接岸できなくなるなどから接岸料を支払わねばなりません。そこで、長い間、船を接岸していると、またコストアップになるので、少しくらい高くても、合板を買い付けして満載状態で出航しようと、合板の買い付けを行いますので、それがまた値上がりに拍車を掛けるという具合になっているようです。

合板の値上がりは、どこまで上がるのか、いつまで高値状態が続くのか予想がつかない状態になっています。

当社では、そうした状況を考慮して、中国から、竹合板とポプラ合板を直輸入しました。

直輸入など出来るものかなと、半信半疑でしたがやればできるものです。

両ペニアをと、型枠合板として使えるかどうかはわかりませんが、良い結果ができれば、他社と差別化できる絶好のビジネスチャンスとなります。是非とも積極的に試験使用をお願いいたします。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

## 高い効率化は整理・整頓から！

整理・整頓をきちんとしようとするれば、計画性が必要になります。

この計画性が非常に重要です。

物が増えればどこに置こうか、置き場所を確保せねばなりません。置き場所がなければ不要なものを選別して、廃棄するなど処分を行なわねばなりません。置き方を工夫することによって、置

き場所を確保できる場合もあります。また、物の出し入れのタイミングも重要です。

要は行き当たりばったりではなく、きちんと計画を立てることが重要です。そして計画を着実に実行すること、その結果をチェックして、新しい計画に生かすことです。

## 2006年 安全成績

現場災害 H18.1.1-H18.10.4	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 2
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 3
交通災害 H18.1.1-H18.10.4	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0